

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス リアン白糸台		
○保護者評価実施期間	令和7年10月7日		令和7年11月22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35	(回答者数) 19(54%)
○従業者評価実施期間	令和7年11月1日		令和7年11月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9(100%)
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年12月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	環境(施設の広さ・部屋の多さ・清潔さ等)に対して高い評価をしていただきました。ガイドラインに示された目安よりも広い空間を用意しています。	活動するフロアと作業空間・クールダウン部屋を分けるなど、お子様のニーズに応じた空間設計を行っています。	絵カードなどの環境の構造化を行うことでお子様の目線からも部屋による役割の違いを認識できるようにしていきたいです。
2	保護者様から希望を反映した個別支援計画が作成、支援内容も計画に沿っていると評価していただいています。	6ヶ月ごとの面談や職員間の支援会議・学校や相談支援事業所と連携し、お子様と保護者様のニーズを把握し、計画に反映しています。	支援計画の内容や進捗を定期的に保護者様と共有し、双方向のフィードバック体制を強化していきます。
3	「日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、共通理解ができて」「支援内容の説明が丁寧」との評価があり、保護者との信頼関係が築かれています。	HUGシステムや紙媒体、ブログなど複数の手段で情報発信を行い、保護者様との連携を強化しています。	HUGシステムを用いた情報伝達を強化し、安全計画やマニュアルなども共有していくことでより強い信頼を得られるように取り組んでいきます。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	アンケートでは「地域の他のこどもと活動する機会が少ない」との指摘があり、地域とのつながりが不十分であることが課題とされています。	現状ではイベントを通じての福祉センターや支援学校との交流はあるが、放課後児童クラブや児童館との連携が進んでいません。	安全面・人員面の確保の制約はありますが、地域の学童や児童館との連携を強化し、交流イベントの企画・実施を検討していきます。
2	「家族支援プログラムや研修会の機会が少ない」との指摘があり、家族支援の充実が求められています。	現在、研修形式での家族支援は実施しておらず、情報提供も個別対応にとどまっています。	他事業所と連携し、保護者会や保護者様向け研修の開催を検討していきます。
3	保護者評価は高いものの、自己評価では職員間の情報共有面の弱さや人員配置の少なさを指摘する回答が多く、職員体制に課題があると認識されています。	送迎後の振り返りの時間の確保が難しく、非常勤職員との情報共有が課題です。人員配置に関しては外出時の共通の色のビブスや緊急時の為のGPSを導入しましたが、人員配置が難しい時にやむなく外出先を変更することがあります。	お子様ごとに計画を反映した「情報共有シート」を作成し、インシデント・アクシデントレポートの内容なども適宜反映できる書式を作り、勤務日数の少ない支援員にも無理なく情報共有ができる体制を構築していきます。